

「 「 「 「 \_\_\_\_\_

「 「 ☆特集記事

.....

◆◆◆ETC20年のあゆみについて◆◆◆

(国土交通省 道路局 道路交通管理課 高度道路交通システム推進室)

今ではすっかり社会に定着した感のある ETC (自動料金収受システム) もその開発当初は、様々な課題をクリアする必要があった。本稿では、ETC が社会インフラとして重要な役割を担うに至った経緯を振り返り、研究開発や事業展開をどのように進めていったか。その後、ETC の普及が進むにつれて、その機能を使った多目的な利用や新しいサービスを付加した ETC2.0 の開発、事業の展開がどのように進んでいるかについて紹介する。

「 「 「 「 \_\_\_\_\_

「 「 ☆道路占用Q & A

.....

◆◆◆歩行者利便増進道路(ほこみち)制度を活用した道路空間の有効活用について◆◆◆

(国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室)

歩行者利便増進道路(ほこみち)制度を活用した道路空間の有効活用について解説する。

「 「 「 「 \_\_\_\_\_

「 「 ☆地域における道路行政に関する取組み事例

.....

★日本風景街道の活動を通じた道路美化の取り組み★°・\*:.。

～のしろ白神の道(秋田県能代市)、ふくしま浜街道ハッピーロード(福島県浜通り)～

(国土交通省 東北地方整備局 道路部)

積雪寒冷地東北管内で美しいみちづくりに取り組む日本風景街道ルート。「のしろ白神の道」では、木製防護柵の塗装イベント、秋田杉と地域の魅力を発信するPAでのイベントや市長と共に学ぶフォーラム。「ふくしま浜街道ハッピーロード」では、高校生など若い世代が参加する桜プロジェクトや大規模な国道清掃についてご紹介します。

.....

**★千葉県における道路災害への取り組みについて★°・\*:.。**

～令和元年房総半島台風等を経験して～

**(千葉県 県土整備部 道路環境課)**

千葉県では、令和元年房総半島台風による、倒木や電柱の倒壊などにより、多くの箇所  
道路が通行止めとなるとともに、広範囲で長時間の停電も発生するなど、県民生活に大きな  
影響を及ぼしました。これらの災害の経験を受け、電力会社との相互協力を定めた協定の締  
結や、台風による被害を踏まえた無電柱化推進計画の策定など、今後の道路災害への取り組  
み等についてご紹介いたします。

.....

**★台風災害時に防災機能を発揮 道の駅「むつざわ つどいの郷」★°・\*:.。**

～令和元年 9 月台風 15 号に伴う東電管内大規模停電の中、自立分散型エネルギーシステ  
ムで地域貢献～

**(千葉県睦沢町 まちづくり課政策班)**

「むつざわスマートウェルネスタウン」拠点形成事業は、「町民誰もが健康で幸せに、ま  
た安心して暮らし続けることができるまちづくり」を掲げ、「道の駅」と「地域優良賃貸住  
宅」を一体とした整備を行った。本エリアは、地元産の天然ガスを活用したガス発電機で電  
力を自給し、自営線によるマイクログリッドで、地域内への電力直接送電システムを構築し、  
エネルギー自立化による低炭素社会の実現と防災性を兼ね備えた。



**☆☆ ☆お知らせ**

.....

**★令和3年度「道路ふれあい月間」推進標語を募集します★°・\*:.。**

**(国土交通省 道路局 道路交通管理課)**

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や道路の正し  
い利用の啓発等各種活動を特に推進していますが、この一環として、令和3年度「道路ふれ  
あい月間」推進標語を広く一般から募集します。

“ 多くの方からのご応募をお待ちしております ”



## ☆☆ ☆編集後記



在宅勤務の日は、オンとオフの切替えがうまくできず、なんとなく、気分がすぐれない日が多いです。在宅での業務にストレスを感じているからだと思ったので、気分転換に銭湯に出かけてみることにしました。

久しぶりに訪れた銭湯では、昔ながらの木札の下駄箱が現役で活躍していたものの、入浴料金は、券売機で購入した入浴券を番頭さんに渡す仕組みへと変化していました。番台の横の暖簾をくぐると、脱衣場です。施設自体は決して新しくはありませんが、天井が高く、清潔感のある広々とした脱衣場でした。そして、浴場には、昔からある黄色いプラスチック製の風呂桶や、富士山のタイル画があり、とても懐かしい気持ちになりました。子供のころ、広い浴場が楽しく、大人の「走っちゃだめよ～。転ぶから。」という忠告を無視し、走り回って結局転ぶという、残念な子供だったことを思い出してしまいました。コロナ禍の今、銭湯では「黙浴」が定着しつつあり、にぎやかな声が聞こえず、寂しく感じました。

銭湯には不思議な力があるようです。ある調査によれば、銭湯を頻繁に利用する人は、幸せを強く感じ、健康状態が良いと認識している人が多いという結果があります。

広い浴場での入浴は、ストレス解消や集中力、創造力が高まるといわれているアルファ波という脳波が多く出るようです。アルファ波は、心身ともにリラックスした状態の時に発するといわれていることから、幸せを強く感じる効果があるのかもしれません。

また、湯量が多くて冷めにくい銭湯の湯は、傷んだ細胞を修復するたんぱく質「ヒートショックプロテイン」を増やす場に適しているといわれています。このたんぱく質は、免疫細胞の働きを強化してくれたり、紫外線から細胞を守ったりしてくれるもので、熱の刺激によって増えることがわかっているそうです。増加したヒートショックプロテインは1週間ほど体内に残り、ピークを迎えるのは入浴から2日後。この特性を利用し、試合前に実践しているアスリートもいるようです。銭湯に通っている方は、定期的にヒートショックプロテインが増やされることで、健康を維持できているのかもしれません。ちなみに、湯温が40℃の場合は20分、42℃では10分、額に汗がにじむ程度を目安に入浴したあと、しっかりと水気をふき取って衣類などを身につけて身体を保温すれば、ヒートショックプロテインが増加するといわれています。

当面の間は、在宅勤務をした日の気持ちの切替えを目的として通うことにしました。急に思い立って行ってみましたが、とても幸せな気持ちに包まれ、特に、帰宅後のくつろぎ時間が心地よかったです。言葉では言い表せないくらい素敵な時間を過ごせたので、だまされたと思って、一度足を運んでいただければ嬉しいです。(U)